

職業訓練指導員試験

理容科・美容科【系基礎学科】出題例

令和7年作成

[理容・美容技術概論]

例題1 ヘアカラーの分類に関する記述として、妥当でないのはどれか。

- (1) ヘアマニキュアは、半永久染毛料である。
- (2) カラーリンスは、半永久染毛料である。
- (3) カラートリートメントは、半永久染毛料である。
- (4) ヘアライトナーは、半永久染毛料である。
- (5) カラースティックは、一時染毛料である。

解答 (4)

[衛生管理]

例題2 環境衛生に関する記述として、妥当なのはどれか。

- (1) 環境とはある個体を取り巻く内的要因のすべてをいう。人の生活が環境の影響を受け、さらに人が環境に影響をあたえるというように、人と環境には相互関係がある。
- (2) 科学技術の発達により、生活や産業活動による廃棄物などは、水や空気を汚して自然環境に変化を起させることはないので、人々の健康をおびやかすこともない。
- (3) 排気とは、室内の汚れた空気を新鮮な空気と入れ替えて、室内空気を清浄に保つことである。
- (4) 上水は、①取水、②導水、③浄水、④送水、⑤配水の過程を経て、需要者に供給される。
- (5) 環境衛生法（昭和45年法律第138号）によって、公共水域の水質を保全するために、事業所からの汚水を処理して排水するように定められている。

解答 (3)

[保健]

例題 3 筋系に関する記述として、妥当でないのはどれか。

- (1) 骨格筋は、随意筋といって動神経によって私たちの意思に従って動く。骨格筋は顕微鏡で見ると縞模様があることから、横紋筋ともいわれる。
- (2) 頭部の筋は、その性質から表情筋と咀嚼筋の 2 つ群に分けられ、理容師・美容師の施術にとって最も重要な部位となる。
- (3) 上肢には、およそ 40 対の筋があって、腕や手の運動を行っている。上腕の主な筋として三角筋、上腕二頭筋、上腕三頭筋があげられる。
- (4) 腹部の筋には、腹壁をつくって内臓を保護すると共に、腹圧をかける外腹斜筋、内腹斜筋、腹直筋などがある。
- (5) 理容・美容の施術によって慢性疲労に陥ることはない。

解答 (5)

[香粧品化学]

例題 4 香粧品用原料に関する記述として、妥当でないのはどれか。

- (1) 頭部は、顔面よりも汗や皮脂の分泌が多く、しかも毛髪が密集していて手入れがしにくい。
- (2) 物質が均一に溶け合い液体の状態になっているとき、これを溶液という。
- (3) 油性原料は、生理的な効果のほかに、製品品質、機能性の向上のために欠くことのできない原料である。
- (4) 乳化とは、ある液体にその液体とまじり合わない別の液体を微粒子状に均一に分散させることをいう。
- (5) 香りは、香粧品の使用感や効果に影響はない。

解答 (5)

[運営管理]

例題 5 接客に関する記述として、妥当なのはどれか。

- (1) 接客とは、髪を切るなどの、施術の部分ではない顧客への対応のみを指す。
- (2) 「顧客はもう一人の従業員」といわれるほど、サービスは顧客の協力を上手に得ることができるとスムーズに進む。
- (3) 「アカウントビリティ（説明責任）」は、顧客からのクレーム時の対応であり、日常ではあまり用いない。
- (4) 接客は、直接顧客に対応する人が行い、そうでない人はあまり関わらないようにする。
- (5) 「謝罪」＝「全責任を認める」という意味なので、原因が不明な場合は、かたくなに謝罪を拒否すべきである。

解答 (2)

[安全衛生]

例題 6 理容師法・美容師法に関する記述として、妥当でないのはどれか。

- (1) 理容師法・美容師法 第1条
この法律は、理容師（美容師）の資格を定めるとともに、理容（美容）の業務が適正に行われるように規律し、もって公衆衛生の向上に資することを目的とする。
- (2) 理容師法・美容師法 第6条
この法律は、無免許営業の禁止を規定している。
- (3) 理容師法・美容師法は、理容師・美容師にのみ適用される。
- (4) 理容師・美容師の免許は、一度与えられれば、取消処分を受けない限り、生涯にわたって有効である。
- (5) 理容所・美容所の開設者は、必ずしも理容師・美容師であるとは限らない。

解答 (3)